

# 労働市場の概要（平成28年7月）

岡山労働局 職業安定課  
Tel 086-801-5103

## 雇用情勢

平成28年7月の有効求人倍率(季節調整値)は、1.63倍となり、前月に比べ0.02ポイント上昇。

前月と比較して、有効求人数(季節調整値)は0.3%増加し、有効求職者数(季節調整値)は0.8%減少した。また、新規求人数(季節調整値)は5.3%増加し、新規求職者数(季節調整値)は1.1%減少した。

新規求人数(原数値)を産業別に前年同月と比較すると、主な産業では、建設業(6.7%増)、卸売・小売業(9.5%増)、医療・福祉(1.7%増)、サービス業(他に分類されないもの)(9.3%増)で増加したものの、製造業(1.6%減)、運輸業・郵便業(10.0%減)、宿泊業・飲食サービス業(37.6%減)で減少したことから、全体では対前年同月比3.9%減と11ヶ月ぶりに減少した。

新規求職者数(原数値)は、前年同月比で13.7%減と2ヶ月連続で減少した。

有効求人倍率(季節調整値)は、3ヶ月連続で1.6倍台となり、高水準で推移している。県内の雇用情勢は引き続き改善している。なお、生産の減少の雇用面への影響を注視する必要がある。

## 1 有効求人倍率(季節調整値)

7月の有効求人倍率は1.63倍となり、前月に比べ0.02ポイント上昇。

### (1) 有効求人(パートを含む)

○ 7月の有効求人は47,966人で、対前年同月比(原数値比較)で4.1%増加し、対前月比(季節調整値比較)でも0.3%増加した。

○ 対前年同月比(原数値比較)で11ヶ月連続の増加となった。

### (2) 有効求職(パートを含む)

○ 7月の有効求職は30,418人で、対前年同月比(原数値比較)で6.9%減少し、対前月比(季節調整値比較)でも0.8%減少した。

○ 対前年同月比(原数値比較)で42ヶ月連続の減少となった。

(3) 7月の正社員の有効求人倍率は1.09倍(原数値)となった。

## 2 新規求人倍率(季節調整値)

7月の新規求人倍率は2.38倍となり、前月に比べ0.14ポイント上昇。

### (1) 新規求人(パートを含む)

○ 7月の新規求人は17,762人で、対前年同月比(原数値比較)で3.9%減少し、対前月比(季節調整値比較)では5.3%増加した。

○ 対前年同月比(原数値比較)で11ヶ月ぶりの減少となった。

○ 産業別新規求人状況(対前年同月比)は、

建設業	6.7%の増加	(3ヶ月連続の増加)
製造業	1.6%の減少	(2ヶ月連続の減少)
運輸業・郵便業	10.0%の減少	(3ヶ月ぶりの減少)
卸売・小売業	9.5%の増加	(2ヶ月連続の増加)
宿泊業・飲食サービス業	37.6%の減少	(3ヶ月ぶりの減少)
医療・福祉	1.7%の増加	(3ヶ月連続の増加)
サービス業	9.3%の増加	(2ヶ月ぶりの増加)

(他に分類されないもの)

### (2) 新規求職(パートを含む)

○ 7月の新規求職は6,758人で、対前年同月比(原数値比較)で13.7%減少し、対前月比(季節調整値比較)でも1.1%減少した。

○ 対前年同月比(原数値比較)は2ヶ月連続の減少となった。

## 3 雇用保険の状況

雇用保険被保険者数は576,130人で、対前年同月比1.7%の増加となり、79ヶ月連続で増加した。

また、受給者実人員(基本分)は6,815人で、対前年同月比12.8%の減少となり、受給率は1.2%であった。